

## 山の雑草と林地除草剤

下界が暑さにうだっている8月、山には涼風が吹いて、キキョウ、フジバカマ、リンドウなど秋の草花が咲きはじめる。この可憐な雑草が林地の大切な保護者であることを正しく理解している人は意外に少ない。

ヒノキ材の産地として有名な三重県尾鷲地方は、また我が国有数の多雨地帯としても知られている。この地方のヒノキ林はha当り6千本以上の密植で、茂った林の中は昼なお暗く、林地は雑草木がほとんど育たない裸地となっている。そこに年4千耗を越す雨が降るので、肥えた表土は洗い流され、石ころの痩せた土地となってしまう。林地の下草が、生態系を維持するために大切な森林の一員であることの説明にしばしば使われる。

林地の雑草は、林木、昆虫、鳥獣ならびに微生物などと共に森林の生態系を構成し、土地の保全、野生動物の生活環境の維持、さらに物質循環の重要な担い手として、森林に欠くことのできない構成因子である。

林地の雑草は、苗木の生長との兼ねいで、6～8月の間に1、2回刈り取り、苗木の間に敷くのが常法で、“上農は草を見ずして草を取る”常に草の生えていない耕地が理想とされる農耕とは対蹠的な姿をもっている。山では、雑草は林地に有機物を還元する大切な自給肥料の給源でもある。

林地除草剤が、クズの枯殺剤は別として、枯殺よりも林地雑草の抑制に目標をおくのは上に述べた理由によるものである。こんども、この方向は変わることは無いであろう。

( 社団法人 日本林業技術協会 加藤善忠 )

## 目 次 ( 第9巻第5号 )

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| アメリカの野菜用奨励除草剤(2).....                    | 2  |
| ＜野菜試験場育種部長 西 貞夫＞                         |    |
| 4. ニューヨーク州の野菜用除草剤.....                   | 2  |
| (イ) 除草剤の土壌混和.....                        | 2  |
| (ロ) 除草剤と他薬剤との混用.....                     | 2  |
| (ハ) 耕種的防除法の奨励.....                       | 3  |
| (ニ) 除草剤散布に用いる水量と<br>ノズルの圧力.....          | 3  |
| (ホ) 除草剤のキャリーオーバー<br>と土壌残留.....           | 3  |
| 茶の栽培と植物生育調節剤.....                        | 11 |
| ＜茶業試験場栽培部 青野英也＞                          |    |
| ・ はじめに.....                              | 11 |
| (A) さし木繁殖における発根促進<br>剤の利用.....           | 11 |
| (B) 定植時における発根促進剤、<br>蒸散抑制剤の利用.....       | 13 |
| (C) 生育調節剤による冬季の気象<br>災害防止.....           | 14 |
| (D) 生育調節剤による春さきの凍<br>霜害回避.....           | 18 |
| (E) 生育調節剤による摘採期間の<br>延長.....             | 18 |
| ・ む す び.....                             | 19 |
| 昭和49年度秋冬作野菜・花き関係<br>除草剤、生育調節剤試験成績概要..... | 20 |
| ＜野菜試験場育種部長 西 貞夫＞                         |    |
| 植調協会だより.....                             | 56 |